

令和 6 年度 第 3 回 定例記者会見市長挨拶

令和 6 年 11 月 20 日

記者の皆様におかれましては、お忙しい中 定例記者会見にご出席をいただき、誠にありがとうございます。

また 日頃から、報道各社の皆様方には、市政に対しご協力を賜り、改めて厚く御礼申し上げます。

10 月 26 日・27 日には全国の発酵食品が香取市に集結する「第 14 回全国発酵食品サミット in かつり」が開催されました。当日は、多くの方に来ていただき、香取市の江戸時代から続く発酵文化を、江戸時代の町並みが残るこの地で紹介し、発酵の歴史文化の奥深さを全国に示すことができました。

また、本日は記者会見終了後に慶應義塾大学との連携協定の締結式がございます。この協定の目的は、イタリア発祥のまちづくりの理念である「スローシティ」の推進による地域力を再発見していく研究を大学と連携して進めるものです。

今後、香取市では発酵食品サミット開催を契機に、発酵文化を活かした地域づくりを後押し、地域の個性や多様性を尊重したスローシティの考えによる、新たな地域資源の再発見を推進し、市民の皆様に地域への愛着や誇りを持っていただけるような取り組みを進めてまいります。

さて、12 月議会定例会は、会期を 11 月 26 日から 12 月 13 日までの 18 日間の予定で開催いたします。

本定例会に提出する案件は、補正予算案件が 3 件、条例案件が 7 件など、20 件であります。

今回の補正予算（案）の特徴として、「医療関係従事者育成・定住事業」と「学校給食事業費」があります。

「医療関係従事者育成・定住事業」では、医療関係従事者を育成し、就業及び定住を推進する事業を行うため、新たに基金を設置するとともに、看護師等修学資金貸付を実施するため、積立金 1,000 万円を計上しました。

「学校給食事業費」では、物価高騰に対応する賄材料費約 3 千 300 万円を追加し、子育て世帯の負担軽減を図るため、当該経費に係る給食費の負担は、求めています。

私からは、以上となります。

本日は、よろしくお願いいたします。